

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成29年4月27日 (2017.4.27)

【公表番号】特表2016-520855(P2016-520855A)

【公表日】平成28年7月14日 (2016.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-042

【出願番号】特願2016-505529(P2016-505529)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/04 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 V 5/00 (2015.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

F 2 1 Y 103/00 (2016.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 B 5/04 A

G 0 2 B 3/00 A

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 S 2/00 4 3 1

F 2 1 S 2/00 4 4 4

F 2 1 S 2/00 3 5 0

F 2 1 V 5/00 5 3 0

F 2 1 Y 101:02

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月24日 (2017.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

相対する第 1 及び第 2 構造化表面を有する光学フィルムであって、前記光学フィルムは前記第 1 構造化表面上に形成された複数の伸長プリズムと、

前記第 2 構造化表面上に形成された複数の伸長分離分散構造と、を含み、各分離分散構造が、低分散部分に沿って配置された高分散部分を有し、

前記プリズム及び前記分離分散構造は、プリズムと分離分散構造とが一对一对で配置される、フィルム。

【請求項 2】

各前記分離分散構造について、前記低分散部分が滑らかな表面特性を有し、前記高分散部分が粗面化された表面特性を有する、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 3】

各前記分離分散構造が、前記第 2 構造化表面の湾曲セグメントを含み、各分離分散構造の前記低分散部分及び前記高分散部分が、前記湾曲セグメントの滑らかな部分及び粗面化

された部分をそれぞれ含む、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 4】

各分離分散構造について、前記高分散部分が粗面化された部分であり、前記低分散部分がレンズレットである、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 5】

各分離分散構造について、前記高分散部分がレンズレットであり、前記低分散部分が平坦である、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 6】

各分離分散構造の前記レンズレットが、発散性レンズレットである、請求項 5 に記載のフィルム。

【請求項 7】

各分離分散構造の前記レンズレットが、収束性レンズレットである、請求項 5 に記載のフィルム。